



市役所本庁舎前で行われている「採れたてふじみ野畑」

くらしの安全

…安全対策

問 連携の実績は。
答 学校法人文京学園とは「連携協力に関する包括協定」を締結し、交流が促進されてきた。ホンダ学園に対しても、今後連携を進めていきたい。

原発ゼロについての見解

足立志津子議員
問 原発ゼロについての見解は。
答 安全神話のもとに進められた原子力政策から、再生可能エネルギーへシフトしていくことが好ましい。

特定目的借上公共賃貸住宅の継続を

足立志津子議員
問 平成29年度で契約期間が終わる霞ヶ丘団地の特定目的借上公共賃貸住宅の継続は。
答 居住者には、安心して住み続けられるよう配慮していく。
問 現在89戸の市営住宅を増設する考えは。
答 増設の考えはない。

総合防災訓練の概要

山田敏夫議員
問 8月25日実施予定の総合防災訓練の概要は。
答 地域防災拠点（避難所）と災害対策本部との情報の迅速性、正確性を高めるためにIP電話を導入する。また、今回は夏の暑さ対策として、参加者に水筒の持参をお願いし、「大井戸天然水（仮称）」の配布などを予定している。

避難所の区切りを見直しては

伊藤初美議員
問 国道を挟んだ避難所の区切りは、見直しが必要ではないか。
答 県の地震被害想定を発表が今年度中にある。地域防災計画の全面的な見直しが必要になるので、避難所の区切りも見直していきたい。

地域防災計画の活用と周知は

西和彦議員
問 一部を修正した地域防災計画の活用及び市民への周知については。
答 主な修正点としては、「帰宅困難者への対策」「情報連絡体制の整備」「災害時要援護者支援体制の整備」「放射性

住宅密集地の災害対策を

岸川彌生議員
問 北野、大原、上福岡一丁目などの住宅密集地では、小中学校等に避難する際に、一時的に地

狭い住宅地での消火活動

島田典朗議員
問 水道管の排水栓は狭い住宅地にあることから、消火活動に活用しては。
答 排水栓は、汚れや空気を抜くため等に用いるもので、消火ホースを取りつけるには改修が必要。東京都の実施事例を参考に検討する。

仙田 定議員
問 「交通安全日本一宣言」を掲げた取り組みを。
答 この3年間で5名の尊い命が、交通事故により失われてきた。「交通安全日本一宣言」については、今後3カ年で進める「ゾーン30」(*)の

交通事故の撲滅を

島田典朗議員
問 コンビニへのAED設置は。
答 認知度や営業時間等、利便性が高いと考えるが、従業員の教育等の課題もあるので今後検討していく。

AEDの設置拡大を目指して

小高時男議員
問 犯罪抑止のために、抑止効果の高い防犯カメラ設置を。
答 治安を維持する上で有効なので、今後調査検討を進める。

防犯カメラの設置を

取り組みとあわせて検討していきたい。

トリックアートによる交通安全対策

岸川彌生議員
問 本市においても「ゾーン30」が実施され

自然豊かなまちに

緑地を再生・保全する方策は

鈴木啓太郎議員
問 開発行為などで減少する緑地を再生、あるいは移植などの方法を用いて保全する方策は考えられないか。
答 開発行為に対しては事前協議や、みどりの条例に基づく届け出など保全指導に努めている。今後さらに、土地所有者の利用法を考慮した市民緑地制度などの新たな手法の導入、植え替えへの支援などを検討する。

遊歩道の整備計画

堀口修一議員
問 遊歩道を整備していくことは、健康増進策として、また、緑あふれる都市整備策として重要。市内全体をめぐる遊歩道の整備計画は。
答 公園や緑道等の確保は防災の上でも重要であり、市の風土を代表する景観を結び一体性を確保するためにも必要。適切な配置計画を策定するために検討を進めていきたい。

大井弁天の森の保全について

西和彦議員
問 土地所有者への意向

日本無線跡地の樹木保存と歩道拡幅

山田敏夫議員
問 日本無線株式会社が撤退した後の敷地内の樹木の保存や、県道さいたま・ふじみ野・所沢線

樹木の適切な維持管理を

山田敏夫議員
問 福岡中央公園の桜福岡中学校の赤松を適切に維持管理することについては。
答 新たに土地の所有者となったイオンタウン株式会社と協力を要請していきたい。

新河岸川の水質浄化を

山田敏夫議員
問 新河岸川の水質の浄化などをどう進めていくのか。
答 市独自の水質調査では、環境基準をクリアしている。さらにボランティア団体などと協働して、河川美化活動をしていきたい。



緑豊かな大井弁天の森

※ゾーン30 通学路や生活道路の密集区域を歩行者優先のゾーンに指定し、車の最高速度を時速30キロに制限する交通規制。